

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月4日

会社名 株式会社ジャパンケアサービス (JASDAQ・コード番号：7566)
 (URL <http://www.japan-care.co.jp/>)
 問合せ先 代表者役職 代表取締役社長 TEL：(03) 5907-7007
 氏名 徳山 幸善
 責任者役職 取締役秘書室長兼総務グループ部長
 氏名 池田 尚

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・法人税等の計上基準およびその他一部については、簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容)
 連結(新規) 1社 (除外) 1社 持分法(新規) 1社 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	2,028	(—)	△43	(—)	△50	(—)	△144	(—)
18年3月期第1四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考) 18年3月期	8,179		50		2		97	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	△17	49	△17	49
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	11	79	11	76

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善に支えられ、設備投資・個人消費の増加、雇用情勢の改善により回復基調を持続いたしました。しかし一方では原油価格の上昇や不安定な国際情勢、国内金融市場での量的緩和政策解除後の金利先高観等の不安定要因等により、国内景気への影響につきましては楽観できない状況が続いております。

当社は、このような事業環境の中、平成18年4月から施行された改正介護保険法に基き、新しい「サービス基準」「介護報酬体系」に基き事業を展開してまいりました。しかしながら、制度変更に伴う混乱により「要支援利用者の自立への移行」、「軽度利用者の予防給付への大幅移行」等により利用者、利益の減少を招きました。

また、「投資有価証券の減損処理」により特別損失が発生いたしました。

その結果として、当第1四半期における売上高2,028百万円、経常利益△50百万円、四半期純利益は△144百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	7,110	3,619	50.9	438	15
18年3月期第1四半期	—	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	7,908	3,863	48.8	467	61

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ797百万円の減少となりました。
また、負債は553百万円減少となりました。これらは主に短期借入金の返済500百万円によるものです。
純資産は主に利益剰余金の210百万円の減少によるものです。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	4,100	10	△30
通期	9,100	100	15

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 1円 81銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期業績予想につきましては、前回発表（平成18年5月19日発表）予想値から変更いたしておりません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書